

全員協議会次第

令和 5 年 3 月 2 4 日
全員協議会室 16 : 48 ~

1. 開 会 (16 : 48)

郡司事務局長

2. 協議事項

(1) 運動公園テニスコート人工芝改修工事の変更契約について

3. その他

4. 閉 会 (17 : 41)

郡司事務局長

令和5年3月24日（金）

全員協議会に出席を求めた者の職氏名

出席議員

議員 久保健二
議員 吉村美津子
議員 桃園典子
議員 林善美
議員 落合信夫
議員 本名洋
議員 細谷光弘
議長 小松伸介

議員 鈴木淳
議員 内藤美佐子
議員 細田三恵
議員 菊地浩二
議員 増田磨美
議員 井田和宏
副議長 山口正史

欠席議員

なし

説明者

町長 林伊佐雄
施設マネジメント課長 古山智志

文化・スポーツ推進課長 高橋章次
観光産業課長 三浦康晴

全員協議会に出席した事務局職員

事務局長 郡司道行

事務局書記 山田亜矢子

◎開会の宣告

○事務局長（郡司道行君） それでは、ただいまより全員協議会を開会いたします。

（午後 4時48分）

◎運動公園テニスコート人工芝改修工事の変更契約について

○事務局長（郡司道行君） 協議事項に移りたいと思います。

進行につきましては、議長、よろしく願いいたします。

○議長（小松伸介君） それでは、協議事項に早速移らせていただきます。

（1）、運動公園テニスコート人工芝改修工事の変更契約についてということで、改めて担当課の皆様にご出席をいただいております。

説明を求めたいと思います。

まず、町長。

○町長（林 伊佐雄君） 改めまして、こんにちは。まずもってこうした議会開会中に全員協議会を開催をしていただきまして、誠にありがとうございます。また、今回の議会におきましては、先ほど三芳町学校再編等審議会条例の撤回をさせていただきました。これも文言の誤りということで、この件と、それから専決、それからゲートボール場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例のこれも上程を失念したということで、大変議会の皆様方にご迷惑をおかけいたしました。心からおわびを申し上げます。そして、この責めは私にあるというふうに思っておりますので、今後皆様のご意見をしっかりと聞きまして、こういうところないように取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この全員協議会に先立ちまして、正副議長、議運の委員長さんと時間を取っていただきまして、お話をさせていただきます。その内容について改めて担当課長のほうから説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（小松伸介君） ありがとうございます。

では、説明に関しては、文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。それでは、早速参考資料という形でmoreNOTEに掲載しております項目につきましてご説明申し上げます。

詳細につきまして、細かく記載いたしました。まず、一番上から土木工事、土工でございます。こちらがマイナスの104万9,267円、雨水排水整備工、マイナス62万1,758円、こちらは両方が勾配変更によるマイナス分でございます。

続きまして、電気設備工といたしまして、こちらは159万2,104円、こちらが先ほど来出ております分電盤の設置であったり、照明柱基礎の変更、ハンドホールの追加に当たるものでございます。

続きまして、テニスコート整備工といたしまして28万4,577円、こちらはちょっと現場との図面の差異がございました関係のプラスでございます。

続きまして、テニスコート施設工になります。こちらがマイクロプラスチック流出対策のための費用でございます。232万7,544円となっております。

勾配変更の工期等による変更で、安全費といたしまして、マイナス8万2,200円、こちら勾配に伴う工程の変更のための警備のマイナス分でございます。

合計といたしまして、245万1,000円となります。こちらに先ほど来説明いたしました、落札率を掛けたものが今回の請負変更額204万200円となるものでございます。

一旦説明はここで。

○議長（小松伸介君） 町長。

○町長（林 伊佐雄君） 先ほど議会の中でご質問のあった、まず設計ミスはないということと、それからマイクロプラスチックの件について話をしないといけなかったもので、それについて説明してもらっていいですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。設計に関しましては、まずこれ勾配変更に関わることにつきましては、これ当初一般的な東西の勾配という形で設計業者から出していただきました。それに伴いまして、それが納品されまして、実際工事の打合せの段階で、すみません。東西の勾配によるものによりますと、一番最大で約25センチから30センチぐらいの段差が生じてしまうということが発覚いたしました。ということは、設計のミスではなくて、受け取った担当課のチェックミスというのですか、そういった形が主な要因となってございます。

それから、マイクロプラスチックの中身につきましては、こちらにつきましては、大体この金額で換算いたしますと、12個先ほど設置すると説明しております。そちらは大きくはまだこれは実証段階ということで市販化されていないというのがあるのですが、大本はこの金枠というのですか、これが特注品であるということで、約それが主にかかっている費用になります。それで、これ実証実験なのですけれども、これをやることによりまして、100%とは言い切れないのですが、そういった形でマイクロプラスチック抑制につながっていけばということで、今回計上しているものでございます。

以上です。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

では、ただいま説明いただきましたが、これに対する質問等、確認等あればお受けしたいと思います。

挙手にてお願いいたします。

いかがでしょうか。

久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。

すみません。大体今ご説明いただいたのと、先ほど議場のほうでお話はいただいているので、ある程度把握はさせていただいているのですけれども、今ご説明ありました設計ミスではないというお話と、それとそのまま当初の設計どおり進めた場合に、25センチから30センチですか、の勾配というか、が差が生じるということで、設計の変更が必要になったということから、このようなお話になっているのかなと思うのですが、ちょっとごめんなさい。テニスコートとか、また家とは違うと思いますので、私もその辺はよく分からないのですけれども、測量等々すると思うのですね、設計をする前に。大体どのぐらいの勾配が生じるかとかというのは、これちょっとごめんなさい。一般的な話にはなってしまうのですけれども、そういう作

業というか、測量というような、設計の段階でそういうことはされなかったのでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） それは現地で測量を行っておると思います。ただし、すみません。やはり何といても、その段差を認識していなかったというのは、あくまでも担当課の認識でございます。その時点では恐らくその中に土留めという形での経費の計上というか、そういった形であったと思います。そこはちょっと気づかなかったのは、担当課のチェックミスでございます。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） はい、分かりました。担当課のミスということで理解はさせていただくのですけれども、測量って、ある程度測量すれば、どれぐらいの差が生じるかとか、勾配がどれだけつくからつくとかというのは、その設計の段階で測量したのであれば分かったのではないのかなと思うのですけれども、だから担当課のミスと言うよりも、ちゃんと測量業者にやっていただいたのであれば、その段階でこれだけの勾配ができてしまいますよとかというのは分かったのではないのかなというふうに感じているので、ちょっと今お聞きはしているのですけれども、その辺りどうなのでしょう。

○議長（小松伸介君） 観光産業課長。

○観光産業課長（三浦康晴君） すみません。私のほうからちょっとお答えさせていただきます。

テニスコートの設計、一般的な基準にいたしまして、テニスコートを設計する際の勾配というのが、東西方向に勾配を取るとというのが一般基準でございます。あとやむを得ない場合は南北勾配も可能だというのは、テニスコートを設計する際の一般基準としてございまして、設計業者のほうはそれに倣いまして、当初東西方向の勾配を計算しまして、設計の納品時には、今、議員がご指摘したとおり、勾配がある形で設計書としては納品されているという形になっております。

以上です。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） ごめんなさい。ちょっと今、ご答弁の理解できなかったのですけれども、従来のやり方でやったけれども、実際に納品されたら、それでは追いつかないから、設計をその場でということですよ。

○議長（小松伸介君） 従来どおりにやったら段差が出てしまったということです。

○議員（久保健二君） ですよ。

○議長（小松伸介君） それに気づかなかったというのです。

○議員（久保健二君） ただ、先ほどから言っているのが、測量をしてもらった段階で、その段差に気づかなかったのですかというのを伺っているのですけれども。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。段差の表示はもちろんされておりまして、そこに気づかなかったのが担当課ということ。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） 担当課でももちろん気づかれなかったかとは思いますが、測量をして設計図面をそこで1回起こしてもらっているわけではないですか。その段階で段差ができることというのは、測量やっ

たら分からないですか。

私もそこまで大がかりなものではないのですが、やり方とか出して、測量を自分でやったことあるのです。そうすると大体例えばですけれども、西の角から東の角でどれだけの勾配ができるとかというのは、素人でも分かると思うのです。そうすると測量をすれば、大体これだけの段差ができてしまうとか、勾配でどれだけのことができるかというのは分かるのかなと思うのですけれども、その段階で分かっていたら、設計で段差ができるというのは分かると思うので、そうすると当初の設計の段階で、東西なのか、勾配をどっちにつけるかというのは、その段階で気づいたのかなと思うのですけれども。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。その辺は恐らく出された資料には明記されていたはずですが、だから、そこをそれをよしとして容認していたのが担当課のチェックミスだというふうに考えております。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。

それと、すみません。先ほどこれ何度もお聞きして申し訳ないのですけれども、マイクロプラスチックの流出対策のために、232万7,540円と、これは詳細に今、内訳出していただいたのですけれども、では主にこれ金枠のが特注だからということで今ご説明いただきましたけれども、先ほどご説明ありましたそのフィルターの交換が年数とかによっては必要になってくるというお話ありましたけれども、ここの内訳って分からないのですか。

○議長（小松伸介君） 232万の内訳。

○議員（久保健二君） の内訳です。

○議長（小松伸介君） 内訳。

文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 232万の内訳は、金枠と、もちろん最初についているフィルターの部分、あとちょっと経費込みの値段でございます。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） そうなのですけれども、ただ、今後フィルターの交換というのが発生するわけではないですか、それが何年後か分からないのですけれども。ここで、大体フィルターというのが、その市販のものででも応用可能だというお話はありましたけれども、これから何年後かというか、何年置きにそのフィルターの予算というのを今後計上していかなければいけないことになるのかなというふうに思いますので、であるところやってマイクロプラスチック流出対策のための抑止のための整備として、こうやって挙げられていますけれども、そこに特注であろうが何だろうが、金枠1か所につき幾らとかというのが出ているのかなと思ったので、ちょっと今お聞きはしているのですけれども、そういった細かい内訳は出さずに、これ工事を発注したということなののでしょうか。

○議長（小松伸介君） 詳細が分かるかどうかですね。

〔「今調べて……」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） 一括でこの金額。

では、そのように答えていただいて。

文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。これ12か所を含めての一括での金額提示になりません。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） そうお答えされてしまうと、もうそれ以上聞いても仕方ない話なのですから、そんなざっくりで発注かけてしまうものなのではないでしょうか。16か所でしたっけ、12か所とおっしゃっていましたっけ。

○議長（小松伸介君） 12です。

○議員（久保健二君） はい。これ追加工事で、その減額分について、減額で何かできないかということで考えられたということでしたけれども、それで発注かける段階で、特注で金枠がどれだけするものなのかという確認とか、そのある程度の見積りというのは出さずに、これ発注かけてしまうものなのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。フィルターに関する部分でよろしいわけですね。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） フィルターではなくて、あくまでもこの流出対策のために230万というふうに計上されているのではないですか。金枠もそうですけれども、その内訳を今お聞きして、ざっくりしか分からないので、一括の発注だという話だったので、そんなにざっくり注文したものなのですかということをお聞きしているのですけれども。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。金枠とこれ、初期のフィルター込みなのですが、1か所につき18万という形では試算されております。

○議員（久保健二君） それを聞いたかったのです。それ掛ける12か所ですね。

○議長（小松伸介君） そういうことですね。はい。

○議員（久保健二君） ちょっと待ってください。18掛ける12って幾つ。

○議長（小松伸介君） 156万、違う。156。ああ、そうか。216か。216だ。

久保議員、もう一回よろしいですか。

○議員（久保健二君） そうすると、すみません。ざっくりですけれども、216万円ぐらいという、金枠代がそのぐらいに当たるのですけれども、そうするとそこから232万円から216万を引いた残りの分が必要経費とフィルター分ということでよろしいのでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。残りの分は必要経費と思っていただいて、金枠とフィルターの込みでの18万でございます。

○議員（久保健二君） すみません。では、最後にいたします。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。

あともう一か所、ごめんなさい。先ほど暫休中にお聞きしたところで、再度確認をしたいのですが、分電盤の説明がございました。これは、全員協議会の場では、分電盤もそうですし、照明の基礎等で追加工事を発注したという話も全員協議会の場ではお聞きできなかった話だったので、こちらの内訳というのはお分かりになりますか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） こちらにつきましては、まず工期の遅れという1つ要因がありまして、仕様を変更したものでございまして、当初のポールの基礎の金額がございまして、そこから工法を変えて、スパイラルダクトという方法で基礎を変更してございます。その差額が約78万ほどになります。

それで……

○議員（久保健二君） それは照明の基礎。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、基礎の部分です。

それで、分電盤につきましては、全くこれ当初見込んでいなかったものを、全くの追加ですので、29万ほどになります。

○議員（久保健二君） 29万。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。

基礎の変更をされたというお話なのですけれども、これ基礎の変更というのは、先ほど言っていたその段差が生じるからということで、そのような基礎の変更というか、工法の変更をしなければいけないということだったのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。こちらは主な、大きな理由は、段差の勾配の高さの関係ではなくて、工法の関係で工期が短縮されるという理由でございます。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） はい、分かりました。それで、問題はないのでしょうか。最初にやろうとしていた工法から、その工期を短縮するために工法を変えたということなのですけれども、それでその強度的な問題とか、そういうのは問題ないのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） そこは、設計のほうでクリアしているということですので、変更いたしました。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） はい、分かりました。

それと、すみません。先ほどお伺いしていましたその分電盤なのですけれども、こちらはこれ野球とかサッカーで使っている照明って、何年前につけられたか分からないのですけれども、覚えていないのですが、もうかなり数十年前からあると思うのです。感電対策ということで分電盤の設置を後から追加工事として今回行われたということでしたけれども、最初からこれ何で入れなかったのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） それにつきましては、ちょっと必要性といえますか、当初の設計で出された形で、特段必要性はその設計の段階では見込んでいませんでした。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） はい、分かりました。必要性ないものであれば、逆に何でつけたのかな、追加工事としてつけたのかなというふうに思いますし、野球場にその感電対策でつけたというと、必要性ありますよね、正直。

○議長（小松伸介君） 漏電。

〔「漏電」と呼ぶ者あり〕

○議員（久保健二君） ああ、漏電か。漏電の対策としてつけるものであれば、最初からこれ必要性なくはないと思うので、設計の段階から入れるべきだったのかなというふうに思うのです。今後また同じような施設等々をつくることもあるかと思うので、既存のものでついているもので必要なものであれば、やはりこれ最初から設計の段階と見積りの段階、積算の段階で入れていただくべきなのかなというふうに思うのですけれども、その辺りは。そうすると今回みたいなこういう話もないと思うのです。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） まさに議員おっしゃるとおりで、施工業者からの提案を受けまして、やはり必要だということ認識して、こちら協議してございますので、そのようにしたいと思います、今後は。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

○議員（久保健二君） はい。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） 鈴木です。

今のご説明聞いていても、なかなか最初の図面の段差の見落としがあったりとか、分電盤を最初から考えていなかったとかありましたけれども、文化・スポーツ推進課のほうでこういった図面等のチェックできる専門技術といえますか、知識を持った方というのはいらっしゃるのでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） いわゆる技師という職員はおりません。いないです。

○議長（小松伸介君） いない。

鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） であれば、いないのが分かっているながら、課内で完結させようとしたのか、それともいないので、ほかの技師の資格等を持っている他の課等には相談には行ったのか、そちらはどうなっていますか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 特に相談等はしておりませんので、あと実際工事始まってから、こういったもろもろ変更出てございます。設計した会社が工事監理請け負っていますので、その……

○議員（鈴木 淳君） 監理。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、工事監理。その施工業者と、その設計会社と町で協議しながら進めていったものでございます。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） 監理も請け負っている。何かさっき7月8日か何かで業務終了したと言っていないでしたっけ。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 設計業務委託は7月8日で終わっておりまして、工事が始まるときに工事監理をまた委託しているものでございます。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） はい、分かりました。取りあえず課内のほうではちょっと人材が足りていなかったということ。

あと、マイクロプラスチックのほうで、1か所当たりで18万円くらいと、いただいた図面を見る限り、二十四、五センチ角といいますか、当然水を通すので、ほぼ枠はステンレスで、その表面に金網が張ってあるといったものですが、これが18万円というのも、まず聞いたときに妥当と思ったのか、妥当だったのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。また、先ほども言いましたが、実証というか、実例がなかったということと、あとまだ実証でしたので、いわゆる定価みたいな形ではちょっと探せませんでしたので、妥当だというふうに判断いたしました。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） 比べるものがないと、多分僕も妥当なのかなと思ひ込みたくなるので、分かりました。

マイクロプラスチックの流出対策とありましたが、先ほどから聞いていると、雨水ますのところにつけると。雨水、これどこに流出するのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 今回のテニスコートにつきましては、宅地内処理でございます。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） であれば、流出はしないと。普通に考えれば、流出するということは考えられないですよ。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） そうです。通常であれば、U字溝がオーバーフローしない限りはないかと考えております。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） あと、先ほど議場内で質疑したときに、先進事例がなかなかなかったと、そこに対して三芳がSDGs宣言もありますから、先進事例になっていくように今後のこの効果とかを検証してって、他自治体にデータを示せるぐらいになっていただきたいと言ったら、そうしたいと言っていたのですけ

れども、これ見る限り、検査とかをどうやってやるのかなと、定期的にフィルターを通る前の雨水、フィルターを通った後、雨水ますにたまった雨水等を比べて水質検査ぐらいまでしないと、本当の効果というのは分からないと思うのですけれども、そういったところは何かお考えも考えられているのか、どうでしょう。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 今の段階では、フィルターに付着したものという形で判断しようかなというふうには想像しておりました。

以上です。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） というのは、フィルター交換するときに、フィルターに付着したものを例えばそういった専門機関に送って検査をするのか、それとも見た目だけでなのか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 今の段階では見た目の判断、色が分かりますので、そういった形で考えております。

○議長（小松伸介君） 色。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 人工芝の色です。

○議長（小松伸介君） 人工芝の色。

鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） ちょっと考えを変えていただきたい。その先進事例になるのだというもし気概があるのでしたら、ご自身が先進事例があった。電話等で聞いたり、調べに行ったときに、いや、フィルターの色はこうだったから、多分取れていますよと、それで納得されますか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） それであれば、また例えばですが、どのぐらいの期間で採取した形、あとは今、見た目と言いましたけれども、重さとか、そういった形で記録として取っておくような形を今なのですが、考えております。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） そのフィルターで取れるのは、マイクロプラスチックだけではないと思うのです。当然ほこりとか砂利とか、小さい小枝とかも来ますし、なのでもし、先ほどほら、先進事例になれるようにというふうにおっしゃっていたので、期待して今聞いているのですけれども、その考えは変わらないのであれば、本当にしっかりとフィルターの物質の検査等までも今後考えていっていただきたいと思っておりますけれども、先ほどの答弁等があったから聞いているのです。そこについてはいかがでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、可能であればそのように検討していきたいと思えます。

○議長（小松伸介君） 鈴木議員。

○議員（鈴木 淳君） にしても、可能であればというか、ご自身から例えばそのための予算をくださいとか、訴えていかないと駄目ですので、可能であればというのは、もう全部他力任せで、今聞いて、ああ、やらないのだろうなと思ってしまいました。それでいいのか、それともどうなのか。すみません。一担当課長

なので、なかなか答弁難しいと思いますが、ちょっと期待を込めてお聞きしますが、いかがでしょうか。

○議長（小松伸介君） 町長。

○町長（林 伊佐雄君） 三芳町はSDGsの町宣言をしているということもありまして、まちづくり懇話会でそうした指摘があって、自分自身は認識がなかったのですけれども、海洋汚染だけではなくて、やっぱり土壌の汚染を含めて、できることをしなくてはいけないという認識の下で、実はやってほしいという願いをさせてもらったのです。残が出たらということだったのですけれども、今回出たものですから、それを急遽やっていただいたという。もちろん残が出なくても、その次のステップとしてこれは考えていこうというふうに思っていました。一応担当課としても先進事例というものを調べて、あるいは業者さんと相談して今回設置をさせていただきました。まさに議員さんがおっしゃるとおり、まだそういった届けはないわけですから、これをやることによってどれだけの効果あるかということをしかりと数字で表す必要があると思うのです。例えば今お話がありましたけれども、どの程度の期間でどれだけの人が使って、どれだけのプラスチックが回収できたかということからまずスタートしていくべきなのかなというふうに思っています。それがどの程度漏れて流出したかということも分かればいいのですけれども、そういったことを含めて、先進事例になるように取り組んでいきたいとは思っています。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

ほかに。

本名議員。

○議員（本名 洋君） 本名です。

ちょっと今の部分で確認させていただきたいのですが、これまでのご答弁ですと、担当課のほうで優先順位でこのマイクロプラスチック対策をしたいというようなお話でしたけれども、まちづくり懇話会の意見に基づいて町長のほうから担当課にこういう対策をやってほしいということをお願いしたということですか。

○議長（小松伸介君） 町長。

○町長（林 伊佐雄君） 全くおっしゃるとおりで、まちづくり懇話会というのは、やはり住民の皆さんから貴重なご提言とか、意見を聞いて、よいもの、できるものは速やかに対応していこうというふうに思っていて、いつも開いております。そのお話があって、その認識を新たにさせていただいたので、これは新しくコートをつくるわけですから、ぜひそれはやっていかななくてはいけないという認識の下、担当課に伝えて協議をして進めていったという経緯があります。

○議長（小松伸介君） 本名議員。

○議員（本名 洋君） 本名です。

それは、ということで了解しました。

それで、これまだ実証実験ということですが、ただ、そうはいつでも、施工業者あるいは人工芝のメーカー等も認識しているはずだと思うので、ある程度の知見はあると思うのです。先ほどホームセンターで買えるようなフィルターだということで、ちょっとびっくりしたのですけれども、どの程度の性能があるのか。つまりどの程度のマイクロプラスチックを捕獲できるのか、その程度のことはその業者のほうから聞いていないのかどうか、お伺いします。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） マイクロプラスチック、先ほども他市の事例申し上げたときに、5ミリ以下のものがそうだとすることで認識しております。あとは目に見える形なのかなとも思っておりますので、イメージといたしましては、不織布みたいな形でのフィルターの設置でキャッチできるのかなというふうには考えております。

○議長（小松伸介君） 本名議員。

○議員（本名 洋君） 本名です。

想像するには、多分例えば靴底でこすれて人工芝が削れたとか、そういう感じでマイクロプラスチックが流出するのかなというふうに思うのですが、それを考えると、本当に微小なマイクロプラスチックだと思うのです。調査では、例えばこのペットボトルの中にもマイクロプラスチック検出されているそうです。そういったものまでは多分捕獲できないのかなとは思いますが、やはりやるからにはしっかり、先ほど鈴木議員のほうからもありましたけれども、調査して、先進事例となるように、そこら辺はもう担当課だけではなくて、メーカーなどとも協力しながらやっていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） こちらにつきましては、人工芝のメーカーとちょっと連動しているのもありますので、その辺いろいろ聞きながら進めていきたいと思えます。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

ほかに。

林議員。

○議員（林 善美君） 林です。

ちょっと1点だけ確認したいのですが、特注品の金枠ということだったので、報告第1号の中に図面があったのですが、その図面が特注の金枠の図面ということでよろしいでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、こちらかと思うのです。こちらになります。

以上です。

○議長（小松伸介君） 林議員。

○議員（林 善美君） これ見ると、例と書いてあって、令和2年というこの設計年月日というのですか、なっているのですが、でも、その上を見ると、寸法は現地排水設備に合わせて変更すると書いてあるので、これが基本の図面で、その三芳町に合わせた仕様になっているのかなというふうに思ったのですが、ちょっとその辺分かればお伺いします。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） これ参考で、三芳町のU字溝の形、大きさに合わせた形のものになります。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

ほかに。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 吉村です。

まず、資料要求をしまして、工事記録というので、令和4年10月24日にいただいた中に、マイクロプラスチック流出抑制のところ12か所ということで、それでこれを含めて全部8点あるのですが、先ほどいただいた資料の中の232万7,544円というのは、この10月24日の8項目の金額と同じというふうに捉えてよろしいでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 8項目というのは、掘削工とか書いてある……

○議員（吉村美津子君） はい、そうです。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） こちらは、この内容は勾配変更によるその増減といいますか、土砂の運搬工とか書いてありますので、それはそちらのほうになりまして、マイクロプラスチックの中身の表記ではございません。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 吉村です。

そうすると、この232万7,544円というのは、あくまでもマイクロプラスチックに関係するところの費用だということよろしいわけですね。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、そのとおりでございます。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） そうすると、いただいた資料の中で、先ほど言った8項目ありますけれども、そのマイクロプラスチックについては232万7,544円と分かりましたけれども、ここの資料の概算変更増減額ということでは増になっておりますけれども、ここの金額というのは幾らになるのでしょうか。

○議長（小松伸介君） ちょっと待ってもらっていいですか。

質問変えますか。

○議員（吉村美津子君） いや、いや、トータルで先ほど言ってくれたのかと思ったら、プラスチックだけだと言ったから、ではトータルでは幾らの金額になるのですかと。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長、はい、どうぞ。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。こちらがこれ工事記録、打合せの資料でございます、その段階では増で610万となっております。

○議員（吉村美津子君） 六百……

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 610万です。

○議長（小松伸介君） 黒塗りのところ全部聞くような質問やめてくださいね。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 610万ということは、先ほどのマイクロプラスチックのほうは232万7,544円だから、それ以外の7項目について、そこから、610万から二百三十幾ら引くと、残りの7点になるというふうに捉えていいわけですね。

○議長（小松伸介君） 施設マネジメント課長。

○施設マネジメント課長（古山智志君） 吉村議員に提示した資料請求に基づいた工事記録、こちらに関してはあくまでも工事記録の経過という形になりますので、最終形の金額の記録ではないということは前提になります。あくまでもこういった協議を積み重ねていって、最終的にこういった金額になったという形になるので、この工事記録の金額を基に計算していくと、それはちょっと合わなくなるという形になりますので、
以上です。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） いや、いただいた資料の中には、その概算変更増減額ということで、増ということで、あとは黒塗りで円というふうになっているので、この黒塗りの部分で8項目あるので、先ほどのプラスチック230万入れて、そのほかが610万だと八百幾らになるわけですよ。それでよろしいわけですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） それはマイクロプラスチック含めた額が先ほど言った額、610という額になります。

○議員（吉村美津子君） 含めた額ですね。

○議長（小松伸介君） 施設マネジメント課長。

○施設マネジメント課長（古山智志君） 先ほどの私の答弁と重なる部分ございますけれども、こちらのほうの黒塗りした意味というのも、やはりこれを金額を全部足し合わせていくと、結果にはなりません。こういった協議を積み重ねていって、こういった形で設計変更すればいいのかというのを、こちらに関してはあくまでも協議の途中の経過の議事録という認識でございますので、その610万円をもって、ではこの金額のうちのどこになるのかというのは、それはちょっと難しいかと思えます。

以上です。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 協議をした結果の金額を入れてあって、あくまでも最終的な結果は違うということで、では最終的な結果は、この610万よりかずっと安くなったのかどうか、その辺についてお伺いします。

○議長（小松伸介君） 最終がこの参考資料の金額ではないのですか。

○議員（吉村美津子君） いや、それはマイクロのところだけだと言ったでしょう、今。

○議長（小松伸介君） それはほかも全部載っているではないですか、ここに。ここに全部載っているではないですか。

ほかにございますか。

○議員（吉村美津子君） 何で、そうやって取るの。

○議長（小松伸介君） だって書いてあるではないですか。ここの中身を聞いたら分かりますけれども。

○議員（吉村美津子君） 別にいいではないですか、それに答えてくれる……

○議長（小松伸介君） 答えられますか。

○議員（吉村美津子君） 答えてくれるのだから、いいではないですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。最終的な協議を重ねた結果が245万1,000円という形になります。参考資料のです。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） ですから、私が先ほど聞いたのは、このマイクロプラスチックのところだけが232万ということなのですかと、私最初は8項目について232万7,544円ですと、全体ひっくるめてこの金額ですかと聞いたら、課長のほうで全体では、8項目ではなくて、マイクロのところだけですよと言いますので、ですから、全体では幾らということを知っていて、610万というふうなお答えだったのですけれども、だから実際にお答えがちょっと違ってくるので、この金額は先ほど出したプラスチックのところだけでは232万7,544円ですよ。ですから、それ以外のものもこうやってあって、610万になっているということですね。

○議長（小松伸介君） 違う、違う。

○議員（吉村美津子君） 先ほど言ったでしょう。

○議長（小松伸介君） 施設マネジメント課長。

○施設マネジメント課長（古山智志君） 610万というお答えをさせていただいたのは、吉村議員が資料請求をしていただいた工事記録、この金額でございます。あくまでもこの工事記録というのは、要は変更契約に至る過程の請負業者との打合せの記録でございますので、この610万がその確定金額ではございません。

○議員（吉村美津子君） それは分かっています。

○施設マネジメント課長（古山智志君） それをそのままトータルしていった中で、最終的に確定した金額というのがこの参考資料の245万1,000円でございます。

以上です。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 同じく今度は11月7日に協議をした結果で、シェルター内人工芝敷設についてというのがあるのですけれども、既設コート内のシェルター下地に人工芝敷設の施工を協議しますとありますけれども、これについても概算変更増減額では増となっておりますけれども、ここはどのくらいの金額なのでしょう。

○議長（小松伸介君） 施設マネジメント課長。

○施設マネジメント課長（古山智志君） こちらも金額は出ていますけれども、そういった金額を積み重ねていっても、この金額にはなりませんので、これ増の場合もありますし、減の場合もありますし、この金額の打合せに関しては、どの分が減ができるのか、増ができるのかという打合せもありますので、ここが増の場合もありますし、減の場合もございますので。

以上でございます。

○議長（小松伸介君） 吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 先ほどの一番最初にあった段差については減になっているのですよね。それは減ということで資料はいただいていますけれども、ここは増となっているので、ここの金額は最終的に決めたのは分かるのですけれども、ここでの増というのは幾らですかということなんです。

○議長（小松伸介君） それを聞いてどうするの。

〔「途中経過聞いてどうするのという話」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） 途中経過を聞いてどうするのですか。だから、この参考資料について聞いてください。さっきから言っていますけれども。

ほかにございますか。

山口副議長。

○副議長（山口正史君） ちょっと1点確認まずしたいのですが、マイクロプラスチックの流出対策で232万7,000円、1つのステンでもって枠組みつくってという話で19万ぐらいだという話だったのですが、これフィルター交換って単独でできるのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） こちらにつきましては、ちょっとU字溝の蓋を開けなくては行けないのですが、開ければ単独でできるものでございます。

○議長（小松伸介君） 山口副議長。

○副議長（山口正史君） そうすると交換に当たっては、ホームセンターかどこか知らないですけども、とにかくフィルター買ってきて、職員のところでできる作業、フィルター交換ということで捉えていいですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） はい、そのように想定しております。

○議長（小松伸介君） 山口副議長。

○副議長（山口正史君） あともう一つ、先ほどの先進事例の話があったのですが、先進事例って難し過ぎて、多分そこに人を割くというのは私は基本的には反対なのです。なぜかという、場所場所によって条件全部違いますから、そこでもって目視で取れた、取れないという話ししたって、架空の話になってしまうので、それはむしろあくまでもメーカー側にその科学的な根拠、資料を提出させることのほうがよっぽどましだと思うのですが、いかがでしょう。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） そういった方法でも検討していきたいと思います。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

ほかにございますか。

桃園議員。

○議員（桃園典子君） 桃園です。

参考のために教えていただきたいのですが、こういう新しいテニスコート建設に当たって、やはりこのマイクロプラスチックの流出ということは、今、課題として重要視というか、注視されている状況が全体的にあるのでしょうか。ニーズというか、どうなのでしょう。新しくそういう施設をつくるときには、やっぱり重視していかなければいけない項目としても時代的には上がってきているという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 町でも人工芝のそういった事業というか、工事初めて行ったものでございますし、やはりそれに伴ってこういった問題があるというのはちょっと情報を耳にした以上、そういった形で取り組んでいけたらと考えている次第です。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

ほかに。

吉村議員。

○議員（吉村美津子君） 吉村です。

先ほど聞いてきたのは、担当課のほうで短い期間でその金額とか、そういったことを業者のほうに回答しなくてはいけないので、そういった短い期間に本当にこの金額が妥当だという判断をするのは、ちょっと私は1課だけでは難しいなと思って、それで先ほど財政でデジタルからも聞いたのかと言ったのですけれども、やっぱりその辺は税金ですので、ちょっと短期間にそれに答えるというのは、割合業者のほうの金額を他社と比べていくのはすごく難しかったのかなと思うので、その辺は本来ならば、そういった時間を取って、この金額が妥当かどうか庁舎内で検討するとか、または他社のところを調べるとか、そういった時間が必要ではなかったのかということで質問しているのですけれども、その辺はどうでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） 吉村議員おっしゃるとおり、確かに期間、返事するまでの期間の話かと思います。やはりそういった形では、先ほど言われましたように、その相談の段階でも財政とも協議していくべきだと考えております。

○議長（小松伸介君） よろしいですか。

菊地議員。

○議員（菊地浩二君） 菊地です。

ちょっと聞きたいのですけれども、浸透ますがあるわけですよね。その浸透ますというのは、何か細工はしてあるのですか。

○議長（小松伸介君） 流出を防ぐために何かをしているかということですね。

文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） マイクロプラスチックに関しての特殊なことは行っておりません。通常の浸透ますでございます。

○議長（小松伸介君） 菊地議員。

○議員（菊地浩二君） 菊地です。

その必要はないのですか。

○議長（小松伸介君） 観光産業課長。

○観光産業課長（三浦康晴君） お答えします。

ですので、浸透ますに雨水等が入る前にフィルターで除去をするという施工になっております。

○議長（小松伸介君） 菊地議員。

○議員（菊地浩二君） 菊地です。

ただ、それが必ずしもキャッチできないから、それをフォローするための、浸透ますのところで浸透しないように、下に行かないように、土壌の問題というのであれば、というのは必要ないのかなと。だってどれぐらいキャッチするかも分からない段階ですから、フィルターでキャッチします。キャッチした分は分かるけれども、流れていった分は分からないわけですよね。浸透ますのほうも調べないし、というのであれば、そちらも対策があってしかるべきだったのかなと思う。マイクロプラスチックがどうと言うのであればと思う

のですけれども、では浸透させればいいやというのだったら、そもそもフィルター要らないのではないのと思いますよね。だから、そっちの浸透ますもちゃんとやってというのがあってもよかったのではないのかなと思いますけれども。

○議長（小松伸介君） 町長。

○町長（林 伊佐雄君） 全く議員さんおっしゃるとおりで、今回の初めての事例なので、そこまで考えていなかったのですけれども、科学的な根拠で、どこまでこれが効果あるかということ調べる意味では、その浸透ますに何らかの対応して、そこにはどの程度拾うかということを検証するというのも重要なということ今お話を聞いていて思いましたので、検討課題とさせていただきます。

○議長（小松伸介君） 菊地議員。

○議員（菊地浩二君） 菊地です。

今、多摩市の事例というのがネットのほうで出ているのです。これを見ると、ああ、すごいなというがあるので、むしろ先進事例があるのであれば、そういったことも含めて検討して、ちゃんとしっかり対応していますというのを言えるようなことであれば、お金をかけている価値があるのではないかなと思うのですけれども、何か今もうちょっとやれるのではないのと思ったので、どうでしょうか。

○議長（小松伸介君） 施設マネジメント課長。

○施設マネジメント課長（古山智志君） 補足しますけれども、フィルターでどうしても除去できなかった分というのが浸透ますのほうに行くと。浸透ますもいわゆる浸透ということで、構造的には浸透の透湿シートというのですか、そういったので巻いております。なので、そこでではどれだけ拾えるかどうかということもあるのですけれども、そういったものも含めて、今後だから検証のほうをしていって、どれだけ効果があるのかということも含めまして、検証していければと考えております。

以上です。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。

久保議員。

○議員（久保健二君） 久保です。

すみません。先ほど先進事例というのが今、他自治体そんなにないというお話、1つしか見つからなかったというお話ありましたけれども、今、ちょっとこれ私ネットで検索しただけでも幾つか出てくるのです。実際に人工芝に例えばですけれども、今、私見ているの、コーヒー汁の充填物を使用して、プラスチックの流出を防止するゾーンをつくるだけで、それが食い止められるだとかというのがこれ実際もうネットで簡単に出てくるのですけれども、そういったこととかはこれやらなかった、やらなかったというか、全くこれ検討しなかったのですか。そのフィルター等々の追加工事を考えたと同時に、そういった他の自治体でも実際にこういった事例が出ているのですけれども、そういったことというのは全くこれ検討されなかったのですか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） すみません。先ほども多摩市というような話出ましたが、まさにそこをちょっと参考にさせていただいて、検討した次第でございます。ほかはちょっとまだ探せてはおりませんでした。

○議長（小松伸介君） 久保議員。

○議員（久保健二君） もうテニスコートのほうが出来上がってしまっていますので、追加工事のほうも今もう完了している状態なので、もう今さらの話ではあるのですがけれども、ただ、今こういう話になっているので、ちょっと何かそのフィルター等々での対策というのでもいいかと思うのですがけれども、工事前に工事の変更等をお願いした経緯があるのであれば、こういった人工芝に工夫を加えて対策というのができたのかなというふうに考えると、ちょっと残念だなというふうには感じたので、今お聞きはしたのですがけれども、今後、今回の事例があるので、参考にしながら何か施設をつくることがあれば、ぜひ考えた上で進めていただきたいというふうには思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○議長（小松伸介君） 文化・スポーツ推進課長。

○文化・スポーツ推進課長（高橋章次君） マイクロプラスチックに関しても今後いろんなところのちょっと事例を研究させていただきたいと思います。

○議長（小松伸介君） ほかにございますか。
よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、ないようですので、協議事項（１）を閉じさせていただきます。

皆様、大変にありがとうございました。

暫時休憩いたします。

（午後 ５時４１分）

○議長（小松伸介君） 再開いたします。

（午後 ５時４１分）

◎その他

○議長（小松伸介君） では、その他はございませんよね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小松伸介君） では、ないようですので、マイクを事務局にお返しいたします。

◎閉会の宣告

○事務局長（郡司道行君） それでは、皆さん大変お疲れさまでした。

まだちょっと定例会続きますので、皆さんよろしくお願ひします。

では、全員協議会、これにて終了いたします。

（午後 ５時４１分）